

令和2年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域		
講習の名称	【選択】映像・画像史料から考える日本現代史		
開設日	令和2年10月3日(土)	講習時間	6時間
主な受講対象者	中(社会科)・高(地歴科)教諭	受講人数	40人
講習の形態	インターネット講習		
担当講師	鬼嶋 淳		
講習のねらい・到達目標	映像・画像史料を素材として、近現代日本社会の歴史について理解を深めること、および、映像・画像史料を授業実践で有効的に利用する方法について検討することを目的とする。		
講習内容	本講習では、いくつかの映像・画像史料を素材として、第一次世界大戦後から高度経済成長期までの日本社会について考える。講義を通じて、当該期を教える際に必要な基本的知識・時代像を確認する。さらに、映像・画像史料を授業実践で有効的に利用していくための方法を考える。		
評価方法・基準	成績評価は、筆記試験(講義内容をふまえて、映像・画像史料を利用した授業実践に関して論述する)、講習への出席状況から総合的に判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		
	認定試験に関して	講習当日に免許更新室からメールにて試験問題を送付します。解答を受験者本人が自署にて行い、提出は免許更新室に郵送してください。	
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00~10:30 (90分)	鬼嶋 淳	本講習の意図などを説明した後、1920年代の日本社会について、画像史料を利用しながら講義する。	
II 10:45~12:15 (90分)	鬼嶋 淳	戦時下の日本社会について画像史料を利用しながら講義する。	
12:15~13:15	昼休み		
III 13:15~14:45 (90分)	鬼嶋 淳	占領期から1950年代の日本社会について、画像史料を利用しながら講義する。	
IV 15:00~16:30 (90分)	鬼嶋 淳	高度経済成長期の日本社会について、画像史料を利用しながら講義する。映像・画像史料を利用した授業に関してまとめを行う。	
受講(視聴)に当たって準備しておくもの	筆記用具		
予習について	専門教科以外の方が受講される場合は、当日の講習を理解するために、例えば、高等学校の教科書『日本史A』を読んでおくなど、予習をお勧めします。		
受講上の注意	講義内容の関係から1コマの講義時間に若干の長短があります。インターネット接続がある環境で受けてください。オンデマンド型の配信なので受講する時間帯は問いません。		